

『時事直言』 No.1792 2026年3月16日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019) [Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

またもや高市早苗大チャンス到来！

政治力学上は「頼む方が負け、頼まれた方が勝ち」である。

また「人質を取った方が勝ちで、取られた方が負け」である。

イランはホルムズ海峡と言う世界経済の生殺与奪権を持ち、世界経済を人質に取っている。

アメリカはイランの原油輸出 90%を担うイランの生命線であるカーグ島壊滅の自由裁量権を持っている。

トランプは言う、「お前死にたくないならホルムズ海峡を開放しろ！」。

イランは言う、「お前がカーグ島を攻撃すれば、中東産油国の石油ターミナルはすべて破壊される」。

双方が脅し合うのは勝手だが、大事なことは出来ることと出来ないことをはっきりさせることだ。

トランプは、「我々はイラン政権を軍事的・経済的に完全に破壊している。イラン海軍は消え、空軍ももはや存在しない。ミサイルとドローンなどすべての戦力が壊滅している。彼らの指導者たちは地球上から完全に抹殺された」。

さらに「米国は比類ない火力を保有しており、弾薬も無制限で、時間も十分だ」。

トランプの主張はまるでイラン戦勝利宣言だ。

Seeing is believing(百聞は一見に如かず)」。

ホルムズ海峡は現在封鎖され、数隻の船舶が攻撃を受けている。

今なおサウジアラビア等湾岸諸国の石油施設にイランのドローンが飛んでくる。

昨年6月12日戦争中、イランは、中国の極超音速ハイパーソニックミサイル技術を取り入れて開発した極超音速ミサイル(音速5倍)のファッタ1(Fattah-1)とカセム・バシル(Qassem Bassir)をイスラエル本土へ打ち込んだがアメリカから供与された最新鋭迎撃ミサイル・サード(Thaad)で迎撃出来なかった。

2月28日からイスラエルはこの脅威のミサイルと発射基地の壊滅に全力を注いできたがまだ成功していない。

トランプの勝利宣言はイスラエルにとっては次期早々であり、ネタニヤフはイランのミサイル攻撃能力を完全に壊滅するまで戦争を続けざるを得ないのである。

アメリカもイランも戦争を終わらせたい中、イスラエルだけがまだ止められない。

オマール仲介のアメリカとイランの核協議が破綻、イランの対オマールの石油施設攻撃でオマールの仲介は不能になった。

こうした現況下で唯一アメリカとイランの仲介役の適任者がいる。

高市早苗である。

日本とイランの関係は、西側陣営では最も良好である。

来るトランプ・高市首脳会議で、トランプからの自衛隊のホルムズ海峡覇権を断ればイランは高市を仲介役と認めるだろう。

高市はトランプにアメリカとイランとの仲介役を申し出て、それが故に表向きは自衛隊の戦闘地域への覇権は国内法で禁じられているという理由で派遣しないことを理解してもらうことだ。

イランは軍事と経済を依存している中国にアメリカとの交渉を任せるか、力の依存関係はないが、世界が信頼する日本に仲介してもらうか決めることになる。

イランは最近 NATO(北大西洋条約機構)に対抗する上海協力機構に加盟したが、今回のイラン戦争で中国からの安全保障行為は無かった。

アメリカとイランが持つカードを出し合って公正な決着が出来るのは日本において他にないのでないか。

幸運な高市が日本の国威を高め、高市自身が世界の大大物トランプ、習近平と肩を並べるまたとないチャンスだと思う。

数日に迫った日米首脳会談は高市早苗の国際舞台への登竜門である。

ところで投資家の皆様、世界の動乱期はカネ儲けのまたとないチャンスです。

毎日、何度も売り買いのアドバイスを増田塾の「本日の株式指南」を参考にして大儲けをして下さい。

私の小冊子 Vol. 156 お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.156

『本当の Japan as No.1 がやって来る！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 156 は**大好評発売中**です。

内容は、**アメリカに安全、食料、資源を依存している日本に主権なし！**しかし米中二大国体制下で日本はアメリカに No と言える独立国になる。「30 年間日本経済死に体」が終わり、1970 年型と異なる 21 世紀型高度成長期を迎えようとしている。日本の経済繁栄とトランプと習近平と肩を並べる高市早苗は偶然か、必然かなどです。価格は、**1冊 5,800 円(送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。